

携帯電話の進化

先月、かん国からの観光客に空港までの道を聞かれ、母がスマホのほんやくアプリを使って行き方を教えていました。
この便利な携帯電話は、どのように発明してきたのか、また携帯電話が無かった時代にはどのような生活していたのかを取材しました。

使うから話すへ

携帯電話は日々進化

参考：総務省
情報通信白書

一九七〇年の大阪万博で「未来の電話」として、ワイヤレステレホンが展示されました。その後、登場したシヨルダーホンは何と、重さ三キログラム。携帯電話は、ほとんど小型化され、カメラ機能やオサイフ機能、音楽プレイヤーやテレビの機能と、さまざまな機能が加えられました。



2000年



1985年



1991年



1970年



2008年



2004年

アイファン日本上陸
オサイフケータイ
ゲームやSNS、電子書籍、地図、ほんやく機能、さらに学習アプリやデザイン、分野、図り、よう、でも使われるようになり、ますます進化を遂げています。

携帯電話のない時代

スマホのテレビ電話で、祖父母にインスタビュー。

Q 仕事に向かつと途中で何かがあて遅れてしまつ時どうやって連絡していたの？
A 公衆電話を使って、十円や百円を入れて話すみんなが使える電話が町中にあんだ。

Q 急に何かすごい物が出てきた時に写真をとりたい時、どうしていたの？
A 頭の中で覚えていた。どうしてもしたい時は、使い捨てのカメラで、とって、お店で現像していたよ。



Q 初めての知らない場所に行く時はどうしていたの？
A ロードマップという地図帳を車に積んでいたよ。歩いている時は、商店の店員さんに聞いたり、おまわりさんや農作業をしている人に教えてもらったり、直接話しかけていたよ。

編集後記 ぼく達人間、大丈夫？！

道順分からないうちに、景色、覚えておきたいこと、困ったこと、解決したいこと、ほしいもの、ひまなとき、全部スマホが...
昔は人間が自分でやっていたことや人に聞いたこと、たまたまして、みんなが解決していたことを、スマホがやってくれるようになり、便利になりました。携帯電話の進化は、くらしを便利にしてくれているけれど、その分、ぼく達人間が、かえってしまつものもあるのではないだろうか。
ぼくは、特に人と関わらなくなるのが心配です。ぼく達人も負けず、にアプリ、トシなければ!!

稻積小学校五年二組 境謙心 令和五年八月十六日 発行